

岡山市区づくり推進事業報告書  
(地域活動部門)

令和 2 年 4 月 7 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 かめやまじょうせきほぞんかい 亀山城跡保存会

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 フリガナ 会長 やべたかまさ 矢部隆正

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ○ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	浮田ふるさと再発見事業
事業実施区域 (小学校区)	亀山城跡 (浮田学区)

<p>① 事業実施内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講演会の開催（添付の写真、チラシ、資料を参照） 操南小学校教諭の片岡学氏を講師に招き「亀山城から羽ばたいていった宇喜多直家、秀家の生涯」の演題で開催した。終了後、希望者に亀山城跡の案内を行った。</li> <li>2. 写真展の開催 うきだ振興まつりで、宇喜多氏や亀山城に関連する写真の展示を行い、見学者に歴史クイズも実施。</li> <li>3. 城跡清掃・管理（写真添付） 学区の町内会、上道中学校及び浮田小学校のボランティア活動の一環として清掃活動を行った。</li> <li>4. 亀山城跡保存会会員の募集 「亀山城跡しおり」をもとに、学区内外を問わずPRを行い、募集した。</li> <li>5. 浮田子どもクラブの活動の活性化（写真添付） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 亀山城跡の清掃活動と歴史講話</li> <li>・ 亀山城跡の樹木伐採による材木を使用しての木工教室の開催。</li> <li>・ うきだ振興まつりでの亀山城歴史クイズの立案と司会進行</li> </ul> </li> <li>6. 亀山城跡の樹木成長にともなう伐採作業（写真添付） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年目となる保存会メンバーによる伐採作業を実施。</li> <li>・ 次年度以降も継続して実施する。</li> <li>・ 保存会浮田子どもクラブの木工教室や椎茸栽培の材料として使用。 （計画していた椎茸駒打ち体験はコロナウイルスで小学校休校となり中止）</li> </ul> </li> <li>7. 亀山城プレーパークの実施（写真添付） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼い子どもをもつ若い世代の家族に亀山城跡を知ってもらうために、プレーパークを開催した。2回目。</li> </ul> </li> <li>8. 八丈島久福会から贈られた秀家ゆかりの蘇鉄の移植式（写真添付） 岡山市長、八丈島久福会、亀山城跡保存会、亀山城跡保存会子どもクラブその他の参加で移植式が行われた。</li> </ol>
<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>戦国の雄、岡山開府の祖と言われる宇喜多直家・秀家親子、その直家が戦国大名に名乗りを上げた居城であり、秀家が誕生した亀山城ですが、地域の新しい住民や若い世代にはその歴史的価値は十分知られてはおらず、とりわけ歴史的資源としての愛着も薄れています。</p> <p>多くの学区民に郷土の偉大な先人と亀山城という郷土の歴史遺産を正しく理解し関心を持ってもらい、多くの方々に広めていく必要があります。</p> <p>若い世代への継承が課題ですが、子どもたちへの働きかけは浮田子どもクラブがありますが、子どもたちの親の年代へはプレーパークへの参画を誘っていくことによって亀山城跡保存会の活動に参加していく道筋をつけたい。</p>

③ 目的・目標の達成状況

1. 講演会開催について

- ・講師片岡学氏、演題「亀山城から羽ばたいていった宇喜多直家、秀家の生涯」参加者は約150人。例年と異なって講師が子ども向けの講演を数多くされている方なので、小学生中学生の参加も呼びかけたが、結果的には少なかった。広く事前にPRしたことによって学区外からの参加者が多く亀山城跡ならびに保存会の存在を知ってもらうことができた。講演会終了後の亀山城跡見学も30人ほど参加され、関心の高さが感じられた。贈られた蘇鉄を見たいという希望も多かった。

2. 写真展の開催

- うきだ振興まつりでの宇喜多氏および亀山城に関する写真展は恒例となっているが、見学者は子どもたちも多く、歴史クイズとあいまって次世代に引き継ぐ歴史の学習になっている。

3. 城跡清掃・管理

- ・中学校のボランティア活動として25名の参加者があった。浮田学区の各町内会からの参加もあり、また終了後、地元歴史家の講話もあって、歴史の学習になっている。

4. 会員募集

- ・13名の会員増があった。

5. 浮田子どもクラブの活動

- ・①に書いたように、前年度から引き続き、子どもクラブの活性化が続き、よき伝統になりつつある。

6. 亀山城跡の樹木伐採作業

- ・昨年度に引き続き、保存会メンバーによる伐採作業を実施した。
- ・次年度以降も継続して作業実施予定。

7. 亀山城プレーパークの実施

- ・NPO法人岡山市子どもセンターのご協力によって、2回目のプレーパークを成功裏に終えることが出来た。子どもはもちろん、若い親世代にも好評だった。参加者は子ども約90人、大人約80人。

1. 講演会の開催について

- ・各町内会長を主としてポスターの掲示、チラシ等により広報を行った。
- ・小学校、中学校、農協、公民館、郵便局などにポスターを掲示し、チラシを持ち帰れるようにした。
- ・学区外の保存会会員には、案内状とチラシを送付した。
- ・山陽新聞の講演会開催の案内頁に掲載してもらった。  
これによって、遠方からの参加者も増え、亀山城跡の存在を広く知ってもらうことができた。
- ・講演会終了後の亀山城跡の見学希望者への案内も行った。
- ・今回は、小学校高学年と中学校全学年にチラシを配布依頼した。
- ・参加者約 150 人、アンケート提出 72 人（うち学区外参加者 56 人）

2. 写真展の開催

- ・展示の写真の選択やパネルの配置の工夫。写真を見ての子ども向けの歴史クイズの工夫。

3. 城跡清掃管理

- ・学区の町内会長に呼びかけ多くの参加者を募った。
- ・清掃後、地元歴史家の講話は歴史の学習になっている。

4. 会員募集

- ・うきだ振興まつりと歴史講演会での呼びかけで、例年一定数の新規会員の入会がある。

5. 浮田子どもクラブ

- ・従来の清掃活動だけでなく、子どもたちのアイデアを募って活動を増やしていった。  
子どもクラブの中に子どもが考えた役員ができて、彼らとの話合いを行うことによってさまざまなアイデアが生まれてきて、それを実行することができるようになった。

6. 亀山城跡の樹木伐採作業

- ・保存会メンバーがチェーンソーを持ち寄り、今年度計画分の作業を実施することができた。

7. これらの活動を岡山市市民協働局市民協働企画総務課のスタッフの取材によって FACEBOOK に掲載していただき情報公開がより進み感謝です。

⑤次年度計画

1. 歴史講演会の開催  
好評につき継続的に開催する。ついては、  
テーマの設定と講師の選定を考えていく。
2. 城跡の清掃・管理  
ボランティアの継続や学区全体への呼びかけをしていく。  
(具体的には町内会長への意識喚起と回覧依頼)
3. 浮田子どもクラブの活動をより充実させていく。  
会員証授与式の内容の豊富化、木工教室にプラスしての活動
4. 亀山城跡を訪れる人たちの記念記録ノートなどの設置
5. 亀山城跡の樹木伐採作業4年目。
6. 亀山城プレーパークは3年目として継続実施したい。  
プレーパーク運動そのものの意義はもちろんのことだが、子どもを持つ  
若い親世代が亀山城跡という場所を知る機会にもなる

⑥事業実施者の評価・感想、  
審査会での助言及び意見を踏まえた改善

1. 役員の交代があつて3年目、新メンバーの協力体制ができあがってきた。
2. 浮田子どもクラブの活動が子どもたちの主体性で出来るようになった。
3. 歴史講演会でのアンケート回収で、参加者の分析ができるようになった。
4. 樹木伐採も保存会メンバーの協力でなんとか3回目の作業ができた。
5. 城跡訪問者への配慮の何かを考えていきたい。  
(道標が目立つよう軍旗の設置、訪問者ノート記入者で希望する人に  
「亀山城跡しおり」の郵送、など)

○事業決定時での審査会意見(区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容)

- ・事業内容が年々拡大されていて今後も頑張ってほしい
- ・大人から子どもまで参加し、地域活性化につながると思う。
- ・将来を担う子どもたちに歴史を分かりやすく伝えようとしていて素晴らしい。
- ・城跡を身近なものにするためにプレーパークや樹木伐採等取り組めていて良い。
- ・上道中学校区の方に対する周知にもっと力を入れてほしい。
- ・協働する団体の拡大に期待したい。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等  
(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の  
結果となった理由等について記入してください。)

- ・上道中学学区の方に対する周知については、今後、上道公民館  
などのご協力をよりお願いしていきたい。

助言等の内容について、  
事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
浮田学区連合町内会	清掃活動、講演会
岡山市立上道中学校	清掃活動
岡山市立浮田小学校	清掃活動、講演会援助、子どもクラブ
上道公民館	講演会のPR、写真展のパネル協力
瀬戸公民館	講演会のPR
宇喜多家菩提寺光珍寺	講演会のPR他
岡山市区づくり推進事業	講演会の後援
岡山市東区役所	各事業への協力
NPO法人岡山市子どもセンター	プレーパークへの協力

## ⑧事業実施経過

年 月 日	内 容
1年9月17日	新入会会員への会員証発送
1年9月20日	岡山市観光振興課と蘇鉄移植式打ち合わせ会
1年10月6日	浮田子どもクラブ 亀山城跡清掃と歴史講話
1年10月14日	八丈島から贈られてきた蘇鉄の移植式
1年10月16日	上道中学校との清掃ボランティア活動打ち合わせ
1年11月14日	亀山城跡樹木伐採作業
1年12月1日	プレーパーク準備会
1年12月8日	亀山城プレーパーク
1年12月14日	プレーパーク反省会
1年12月15日	上道中学校 亀山城跡清掃と歴史講話
1年12月19日	講演会チラシ・ポスター仕分けと郵送のための封筒づめ作業
1年12月20日	講演会ポスター・チラシ設置依頼
2年1月14日	亀山城跡保存会浮田子どもクラブ木工教室
2年2月7日	運営委員会、歴史講演会会場準備、配布資料製本作業
2年2月8日	亀山城跡保存会主催郷土の歴史講演会
2年2月11日	プレーパークリーダー全体研修会
2年2月14日	新入会員への会員証発送
2年3月2日	NHKBS「英雄たちの選択」亀山城取材撮影

# ⑩ 収支決算書 (令和元年度)

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	207,000	154,900	
実施団体負担金	102,000	32,351	亀山城跡保存会
協賛金	105,000	105,600	浮田学区連合町内会助成金
寄付、他収入		17,000	
計	414,000	309,851	

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	192,000	160,932	プリンターインク、チェーンソー刃他
②食糧費	49,000	29,560	事業日弁当、会議飲物代
③印刷製本費	73,000	61,035	ポスター、チラシ、会員証印刷
④燃料費	5,000		
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	15,000	18,117	資料郵送代
⑦広告料			
⑧手数料	0	406	振込手数料
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費	20,000	1,791	椎茸栽培
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	30,000	30,000	講演会謝礼
⑭保険料	10,000	8,010	樹木伐採作業保険料
⑮旅費	20,000		
計	414,000	309,851	